



Topics

- ・決算特別委員会報告 … 1
- ・代表質問・一般質問 … 5-14 etc

総務常任委員会報告

主な質疑内容

総務部

- 問** 信号機のない横断歩道を、車の運転手から夜間でも分かりやすくする対策を。
- 答** 交通安全施設の管理者である公安委員会や警察、道路管理者と協議していくとともに、引き続き横断歩道における歩行者優先の呼びかけを、関係団体と連携して行っていく。

総合政策部

- 問** 若者および子育て世帯の移住支援金の令和5年度申請の見込みが、当初予定の8件から33件と大きく上回った要因は。
- 答** 支援金の東京圏型において子育て加算の支援額が1人当たり30万円から100万円に増額されたことや、全国型において市独自で引っ越しに係る加算、子育て加算を行ったこと、令和4年度の下半期の補助申請が令和5年度になったことが考えられる。
- 令和5年度本市が新たに組み込んだオーダーメイド型お試し移住には6組の申込みがあり、その内の2世帯10人が移住する予定である。
- 問** 令和5年11月1日から、福井県のデジタル地域通貨「ふくいはぴコイン」が始まったが、本市における活用は。
- 答** 出産・子育て応援ギフトや、子育て世帯を対象としたふく育ポイントを「ふくいはぴコイン」で受け取ることができるようになった。県内の他市町で行われている健康ポイントやボランティアポイントなどの実証事業をみて、様々な活用を検討していきたい。

- 問** 本市のブランドメッセージが「らしさ、かがやく。」に決まったが、ワークショップ参加者の意見が反映されたのか。
- 答** 市の魅力を深掘りする若者向けのワークショップを7回、フィールドワークを3回実施し、4つの案を導き出した。最終的に市内外の人に見てもらい、投票で一番多かったものに決定した。素案を作り上げたということで、参加者の意見が反映されたものと考えている。
- 問** 空家等の適正管理に関する条例の一部改正について、9条の「軽微な措置」や10条の「緊急安全措置」とは、具体的にどのような措置を講ずるのか。
- 答** 現地や周辺の状態などを踏まえた上で、9条については、例えば門扉や窓の閉鎖、敷地内で危ないものを移動することを想定しており、10条については、飛散の恐れがある建物の部材の固定や撤去、崩落の恐れがある建物の部分補強や防護措置などを考えている。



らしさ、かがやく。
坂井市

▲坂井市ブランドメッセージ「らしさ、かがやく。」とロゴマーク

一般会計

歳入合計 480億4,117万3,533円
歳出合計 462億7,687万1,031円

実質収支^①は16億932万9千円、実質単年度収支^②は1億9,795万2千円の黒字となった。財政力指数^③は0.61で前年度に比べ0.02ポイント減少、経常収支比率^④は92.4%で、前年度に比べ2.8ポイント上昇している。

今後もさらなる自主財源^⑤の確保とともに、物価高騰などによる影響がある中でも、DXの活用など工夫を凝らし経費の削減に努め、事業の効果・検証を確実に実施するなど、将来に過度な負担を残すことのないよう持続可能な財政運営を図ることが必要である。なお、北陸新幹線延伸開業を目前として各種基金を有効に活用し、100年に一度のチャンスともいわれる中、観光やまちづくりに積極的に取り組み、坂井市の魅力を国内外へと発信するなど、市のPRや企業誘致の促進に努めることも必要である。

特別会計

○国民健康保険特別会計

歳入合計 83億7,268万8,226円
歳出合計 79億5,222万9,300円

実質収支は4億2,045万8千円、実質単年度収支は262万1千円の赤字となった。

一般会計からの繰入金金は5億2,130万円あり、今後も医療水準の向上などにより医療費が増加傾向にある。このことを念頭に、より一層の健診受診率の向上やフレイル予防、ジェネリック医薬品の普及促進策を図り、適正な給付や安定した事業運営に取り組む必要がある。

○後期高齢者医療特別会計

歳入合計 12億2,620万5,196円
歳出合計 12億2,609万6,096円

実質収支は10万9千円、実質単年度収支は66万3千円の赤字であった。

不納欠損額については16万4千円と、前年度から大きく減少しており、今後も一層の収納率向上を図るとともに、事業の安定的な運営に取り組む必要がある。



企業会計

○水道事業会計

2,589万8千円の当年度純損失となり、給水人口の減少や節水意識の高まりにより有収水量が減少したためと考えられる。今後も、営業収益の安定的な確保と、計画的な施設や設備の更新などにより費用の圧縮に努める必要がある。

○公共下水道事業会計

8,923万2千円の当年度純利益となり、前年度から改善された。今後もさらなる経営の効率化、健全化を図るとともに、より一層の経費削減に努める必要がある。

○農業集落排水事業会計

111万円の当年度純損失となり、前年度から17万円増となった。水洗化率は0.99ポイント上昇し90.00%となっている。引き続き維持管理コストの削減を図るなど、一層の業務効率化に取り組んでいく必要がある。

○病院事業会計

当年度純利益は3億7,239万3千円となり、新型コロナウイルスが落ち着いてきたことにより外来患者数の増加や、新型コロナウイルス病床の設置に係る補助金などによるものである。今後も周産期医療や救急医療など地域に根差した公立病院としての役割の充実に努めていく必要がある。

用語解説

- ①実質収支**
当該年度の歳入歳出差引額から、翌年度に繰り越すべき財源を控除した額。
- ②実質単年度収支**
当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額（単年度収支）に、実質的な黒字・赤字要素（財政調整基金への積立額や取崩し額など）を差し引いた額。
- ③財政力指数**
財政の豊かさを表す指数。1に近いほど財政に余裕があるとされる。（令和3年度全国市町村平均：0.50）
- ④経常収支比率**
財政構造の弾力性を表す指標。比率が高いほど臨時的に使用できる一般財源が少なく、弾力性を失っていることを示す。（令和3年度全国市町村平均：88.9）
- ⑤自主財源**
市税など、市が自前で集め自由に使える財源。

令和4年度決算を認定しました

決算特別委員会報告

本委員会では、令和4年度の坂井市一般会計、特別会計および企業会計の計7会計について、9月28日から10月31日までの5回にわたり、事業が目的に従って適正かつ効率的に執行されたかどうかや、今後どのような改善工夫がなされるべきかなど審査を行いました。

産業建設常任委員会報告

主な質疑内容

産業政策部

問 ゆりの里公園農産物直売所について、これまでと違った目新しい提案は。

答 JAが運営する他の直売所との連携や、現在、未利用調理室の利活用を考えている。

問 ゆりの里公園交流促進施設のテナントオープン後の全体の営業状況などは。

答 令和5年10月末現在の入場者数は、累計で約25万3千人で、年間目標入場者数19万5千人を上回っている。

冬季間の誘客に向けて、公園では花の代わりとなるペットポタルの増設やイルミネーションをよりにぎやかにしていく。

問 三国温泉ゆあぼ〜とについて、レジオネラ菌対策は。

答 ゆあぼ〜とは、源泉の温度が高く、冷泉で冷まして流しており、絶えず温泉の流入量が多く、レジオネラ菌の危険性は、沸かし湯に比べ少ない。また、定められた基準に基づいて検査しており、現在は検出されていない。



▲ ゆりの里公園農産物直売所

問 軽井沢での坂井市産食材魅力フェアの成果は。

答 令和5年10月21日、22日に長野県軽井沢町の発地市庭^{ほっちいちば}で開催され、ブースの出展に応募があった7事業者で、甘えび、焼きサバ寿司、若狭牛肉、油揚げ、へしこ、地酒、コシヒカリのおにぎりなどを販売した。

また、福井県立大学の学生が伝統野菜である越前白茎ごぼうの紹介やお茶を振る舞った。

来場者は2日間で約1,500人、出展ブースの売り上げは約120万円であった。

建設部

問 市営住宅用地の土地購入費における単価設定は。

答 鑑定評価と固定資産税評価の両方から算定している。

問 通学路除雪時間を、道路除雪時間に合わせて開始しては。

答 本市の歩道除雪は、福井県、福井市、あわら市と同様に降雪20cmで除雪する。除雪範囲は、学校周辺で半径500mを基準としている。

なお、通学路については、車道除雪が完了後、いち早く除雪するよう考えていく。

問 下水道管の老朽化調査の状況は。

答 下水道管の材質や使用開始後の経過年数を考慮し、現場の状況から老朽化が進んでいるような箇所を点検調査の対象としている。

調査は、下水道管内を自走できるテレビカメラにより毎年約5kmを計画的に進めている。

教育民生常任委員会報告

主な質疑内容

三国病院

問 訪問看護ステーション^{*}の実績は。

答 令和5年5月に開設し、登録者が20名になり、順調に増えている。

問 外国人患者の受け入れ体制は。

答 日本語を話せない受診を必要とする患者のための医療機関用の多言語翻訳ツールを導入予定である。

教育委員会

問 小中学校のトイレの洋式化率と、今後の整備予定はどのようになっているか。

答 小学校77%（屋内のみ84%）、中学校76%（屋内のみ78%）となっており、今後も長寿命化改修工事や校舎などの大規模改修に合わせてトイレの洋式化を進める。

問 全天候型子どもの遊び場の安全性を優先する設計や管理運営はどのように行うのか。

答 デザイン性よりも安全性と機能性を第一に設計業務を進める。管理運営については、子ども福祉課などとも連携しながら本施設で展開するソフト事業を考慮していく。



▲ 洋式化が進む市内小学校のトイレ

生活環境部

問 マイナンバーカードを利用した証明書のコンビニ交付利用率は。

答 マイナンバーカードの交付率が8割を超えたことにより、対象となる証明書のコンビニ交付割合は24.23%となっている。

問 竹田地区のオンデマンド交通の導入は。

答 現在アンケート調査を行っており、住民のニーズが反映された運行ができるよう協議している。

問 坂井市丸岡総合福祉保健センターの自主事業であるフィットネス事業の引き継ぎは。

答 現事業者と次期事業者との間で今後話し合いが行われ、継続の方向で進められると思われる。また、現在の従業員を引き続き雇用していきたいと聞いている。

健康福祉部

問 物価高騰支援事業の対象となっている被扶養者のみで構成される世帯とは。

答 高齢者のみで構成されている被扶養世帯などであり、市独自の支援として令和5年8月に続き給付世帯としている。

問 令和6年度に開設予定の「こども家庭センター」はどのような業務を行うのか。

答 母子保健機能や児童福祉機能において実施している相談支援などの取り組みに加え、新たに全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う。

※訪問看護ステーション…住み慣れた自宅で療養生活が送れるように、医師や他の医療専門職、ケアマネジャーなどと連携し、訪問看護サービスを提供する事業所のこと。

問 インバウンド向けおもてなし強化と、観光客向けグルメ情報を、多言語対応の人材育成のサポート

北陸新幹線県内開業に向けて

結婚応援日本一を掲げ、年間出生数720人を目標に出産、育児、教育など、子育てしやすいまちづくりに取り組む。

問 人口減少対策および少子化対策にどう取り組むのか。

移住者への支援とともに、若者が将来本市に戻ってくるために、働く場所の確保、住宅支援、住みよさを高める取り組みを強化したい。

人口の将来展望と結婚応援課の取り組みは



創政会 会長 田中 哲治



▲若狭牛を肥育する丸岡町内の牛舎

若狭牛の学習を含めた献立の導入を教育委員会や関係機関と連携して進めたい。

問 新規就業者に対する支援および学校給食での若狭牛の活用は。

各分野で1、2年学ぶカレッジを県で実施しており、初期投資には国・県・市で支援している。

農林水産業の振興策は

トや翻訳アプリの説明会の開催、店舗では外国語で看板やメニューの表記、キャッシュレス決済、免税の対応をしてもらう。本市の豊かな食をPRするために、観光情報と一体的に食の情報を取得できるようにしていきたい。

問 子育て家庭の孤立を防ぐための対策と、発達障がいがある児童の放課後の支援体制の強化を。

妊娠から出産、子育て、さらに

親子が笑顔の子ども家庭福祉を

今後とも居場所が増えるように地域とも連携して進めたい。

認知症カフェが全国的に展開され、本市でも運営団体の募集をしている。

問 認知症初期集中支援チームの告知と、居場所づくりを。

支援チームは約6カ月にわたり集中的に支援を行うもので、幅広い人に周知を行うことで早期診断・早期対応につなげたい。

認知症に対する取り組みは



創政会 副会長 前田 嘉彦

問 坂井市をディスクゴルフの聖地にするには。

市内全ての小中学校に競技用ゴールを設置する予定である。また、民間活力を導入した海浜自然公園再整備の基本計画の中で、ディスクゴルフコースについても検討したい。

坂井市をディスクゴルフの聖地に

市内全ての小中学校に競技用ゴールを設置する予定である。

また、民間活力を導入した海浜自然公園再整備の基本計画の中で、ディスクゴルフコースについても検討したい。

問 大雨時における都市排水対策と、通学路の歩道除雪体制は。

旧水路の水門操作や末端パイプラインの止水、樋門の開閉など、排水対策に取り組んでいく。歩道除雪については、ハード面の充実に加えて、小型除雪機を活用するなど、地域全体で協力し合える除雪体制を図っていきたい。

大雨、大雪の対策は

児童虐待の予防も含めた相談支援体制の強化を図るために、令和6年度に「こども家庭センター」の設置を考えている。「放課後等デイサービス」の利用など障がい福祉サービス事業所と支援に向けた検討を進めたい。

市政を問う 代表質問

令和5年12月5日、4会派5人の議員による代表質問が行われました。次ページからは、質問項目中の特に市民の皆様へお届けしたい内容を掲載しています。全編については後日議会ホームページに掲載される会議録や、YouTube（チャンネル名・福井県坂井市議会）をご覧ください。次ページ以降の二次元コードからもYouTubeを視聴できます。なお、文章は各議員が作成しています。

通告一覧

議員氏名	通告内容	ページ	議員氏名	通告内容	ページ
【創政会】 田中 哲治 前田 嘉彦	(1) 人口の将来展望と結婚応援課の取組について (2) 北陸新幹線県内開業に向けた取組について (3) 農林水産業の振興について (4) 公共施設マネジメントの推進について (5) 認知症の取組について (6) 農福連携の取組について (7) 親子が笑顔のこども家庭福祉の充実について (8) 漂流・漂着ごみ問題対策について (9) 大雨、大雪の対策について (10) 坂井市をディスクゴルフの聖地に	6	【志政会】 後藤 寿和	(1) 市政運営について (2) 坂井市の災害対策について (3) 教育と子育て支援について (4) 持続可能な農林水産業の推進について (5) 丸岡インターチェンジ付近に倉庫型卸売り小売店の誘致について	7
【政友会】 三宅小百合	(1) 令和6年度の予算編成方針について (2) 学校教育施策について	7	【日本共産党】 議員団 畑野麻美子	(1) 地域共生社会を目指して、地域支援事業の体制強化が必要 (2) 職員体制強化において、会計年度任用職員において、希望する職員は正職員とすべき (3) 義務教育の保護者負担軽減を求める (4) 物価高騰による農業支援、畜産支援策を	8

代表質問・一般質問ってなに？

代表質問や一般質問って、「何のためにしているの?」「どうしているの?」のような疑問があると思います。今回は代表質問と一般質問について解説します!

代表質問ってなに？

- 坂井市議会の議員は、活動を共にしようとする「会派」という議員のグループに所属しており、代表質問はその名のとおり、会派の代表議員が行います。
- 代表質問は構成員2名以上の会派のみ行うことができ、会派の理念や政策を踏まえ、市長の政治姿勢や提案された予算などについて質問をします。

一般質問ってなに？

- 定例会（3月、6月、9月、12月）ごとに、議員は市の実施している事業の状況や方針などについて、市から報告や説明を求めるために質問をします。
- 一般質問は代表質問とは異なり、議員個人の立場で質問することになるため、より地域に密着した質問になります。

問 職員体制強化において、会計年度任用職員で希望する職員は正職員とすべき

答 自分らしく働ける部署への配置や、役割の分担をすべき。令和6年度から全ての職員を対象に、面談を予定している。正規を希望する職員は、正職員

問 地域共生社会を目指して、地域支援事業の体制強化が必要

答 市内で家族間の事件が相次いだり、地域からの孤立について対策は、時間をかけて寄り添う支援が必要であり、福祉の相談窓口「ここサポ」を周知していく。

問 地域包括支援センターの体制強化を。

答 所管課と緊密に連携し、支援の充実、体制強化に努める。

日本共産党議員団
団長 畑野麻美子



▼自転車のヘルメット着用は努力義務でも、命を守る上では大事!



問 物価高騰による農業支援、畜産支援策を

答 ビニール類やコンテナなど資材高騰で厳しいため、支援をすべき。県と連携しながら検討していきたい。

問 地域共生社会を目指して、地域支援事業の体制強化が必要

答 時間をかけて寄り添う支援が必要であり、福祉の相談窓口「ここサポ」を周知していく。

問 地域包括支援センターの体制強化を。

答 所管課と緊密に連携し、支援の充実、体制強化に努める。

問 物価高騰による農業支援、畜産支援策を

答 ビニール類やコンテナなど資材高騰で厳しいため、支援をすべき。県と連携しながら検討していきたい。

市政のことが知りたい! 一般質問

令和5年12月6日、7日の2日間にわたり、11人の議員による一般質問が行われました。次ページからは、質問項目中の特に市民の皆様へお届けしたい内容を掲載しています。全編については後日議会ホームページに掲載される会議録や、YouTube(チャンネル名・福井県坂井市議会)でご覧ください。次ページ以降の二次元コードからもYouTubeを視聴できます。なお、文章は各議員が作成しています。

通告一覧

議員氏名	通告内容	ページ	議員氏名	通告内容	ページ
岡部 恭典	(1)市の花「ユリ」と伝統野菜「越前白茎ごぼう」の振興、推進について	9	永井 純一	(1)本市の学校教育について (2)人口減少に備える一行政改革一 支所のあり方	11
鍋嶋 邦広	(1)エンディングノートの積極活用と60歳からの早期取組について (2)首都圏におけるシティプロモーションの強化並びに品川区との連携事業の拡充強化について	9	伊藤 宏実	(1)本市の農業指針策定と個人小規模水稲農家に対する支援策について	12
川畑 孝治	(1)子どもの遊び場について	10	松本 朗	(1)会計年度任用職員制度の抜本改革を求める (2)通学支援事業では、保護者負担の廃止を求める	12
佐藤 岳之	(1)時代の変化に応じた交通安全施策の推進について (2)学校開放の効率的な運用方法について	10	林 豊夏	(1)国際交流事業について	13
上坂 健司	(1)水道事業の現状と対策について (2)健康都市の健幸(健康)まちづくりについて	11	廣瀬 陽子	(1)本市の郷土料理・伝承料理の継承について	13
			山田 秀樹	(1)夫婦の絆を深める子育て支援について (2)市民の健康と体力維持について	14

問 令和6年度の予算編成は

答 市長の予算編成の考えは、限りある財源の有効活用を図り、国庫事業や県の補助金の活用を行いながら経常経費の抑制に努める。また、新幹線開業の対応はもとより、市民の幸せの実感につながるような予算編成を図っていきたい。

問 まちづくり整備基金の活用は。

答 まちづくり整備基金条例の趣旨に基づき道路の維持改良、施設の整備更新、学校給食費の軽減などに活用している。

問 今後、基金を大きく取り崩す事業はあるか。

答 小中学校の大規模工事、公共施設の更新・長寿命化、東尋坊や丸岡城周辺の整備、全天候型子どもの遊び場事業、春江駅の周辺整備、

政友会
政調会長 三宅小百合



問 学校教育施策は

答 休日の中学校部活動の地域移行について現状と今後の見込みは、令和5年度から令和7年度末までを改革推進期間とし、国の実証事業として2つの地域スポーツクラブが創設され、地域移行を実施している。

問 この2つのクラブをモデル事業として令和7年度末までに全ての部活動の地域移行を行う。

問 小中一貫教育への所見は。

答 小学校と中学校が隣接または一体型である場合に設置の効果が大きいと考えるため、地域の実情に応じた教育活動を行う。



▲地域移行モデル事業として創設された三国陸上クラブ

中学校体育館の空調整備事業などの大型事業が控えている。

問 持続可能な農林水産業の推進を

答 将来の担い手不在の集落に対して取り組みがあるのかを伺う。

問 農業経営基盤強化促進法に基づき令和5年4月より、農地一筆ごとの10年後の耕作者の計画を令和6年度末までに集落や地域で作成することが必要となった。どこの農地を誰が耕作するかと

答 職員体制は、柔軟に組織の壁によることなく効果的、効率的に対応することが大事だと考える。

志政会
幹事長 後藤 寿和



問 丸岡IC付近に倉庫型卸売り小売店の誘致は

答 丸岡IC付近に1万㎡の商業施設を誘致することで、市の経済の発展、にぎわいの創出と雇用の機会が増えてくるが誘致の考えは、まずは魅力的なまちづくりに取り組むことが、将来の商業施設の誘致にもつながっていくと考えている。



▲商業施設の誘致が期待できる丸岡IC

市の花「ユリ」と
伝統野菜「越前白茎ごぼう」の
振興と推進を

問 ユリの栽培農家を増やしていくための、施策と支援策は。

答 ゆりフェスタの開催や生産農家が直売所に切り花を出荷するなど、集客と市民への周知を図っている。

問 市民生活や行事などでの利用拡大を図ることにより、補助制度の在り方について考えていく。

答 J Aとの連携を再構築し、栽培農家を育成する考えは。

問 作付けおよび出荷奨励の補助に関して、引き続き連携していく。

答 全世帯に球根を配布し、市全体がユリで咲き誇ると素晴らしいと考えるが。

問 新幹線開業や市制20周年を見据えて検討する。

答 伝統野菜は後世に残していくことが大きな役割であり、越前白茎ごぼうの魅力をどのように伝えていくのか。

問 福井県立大学と連携し様々なイベントや広報を通じて魅力を伝えていく。

答 越前白茎ごぼうの生産量確保と



岡部 恭典

問 栽培面積の拡大の取り組みは。

答 作付け回数を増やすことにより生産量を確保する。種の無料配布を行い、イベントなどを通じて周知し、需要を増やすことにより、生産量の拡大と栽培面積の拡大についても支援を考えていきたい。



▲越前白茎ごぼうの圃場の様子(春江町内)

子どもの遊び場の整備

問 他の自治体では、空き施設を活用して整備しているが、現在利用者がある施設を使い整備するのはなぜか。

答 また、整備の前に庁舎アトリウムを活用して需要調査をしては。

問 調査については、子育て世代に對し全天候型遊び場に関するアンケートを実施し、91%が全天候型の遊び場が必要と答えた。

答 アンケート結果を踏まえ、本市の海・山・川といった坂井市らしさを考慮し、大きさや規模、市内各所からのアクセスや駐車場、新設ではなく既存施設の活用という観点から、坂井屋内スポーツセンターがよいと判断した。

問 本市には福井県児童科学館「エンゼルランドふくい」があるが、近距離となる坂井屋内スポーツセンターの整備は必要なのか。

答 近距離ではあるが、坂井市らしさを取り入れた施設を整備することで、「エンゼルランドふくい」とは差別化を図っていききたい。本市はコミュニティセンターを中心としたまちづくりを進めているので、その一部に整備しては。



▲全天候型子どもの遊び場予定地である坂井屋内スポーツセンター



川畑 孝治

問 コミュニティセンターの一部は、遊び場に持たせる機能とは異なる。

答 市内各地にショッピングセンターや、大型店舗が多くあり、民間活用の点から、費用の一部を助成して、店舗の一部に子どもの遊び場を整備してもらっては。

問 民間の活用については、様々な形で検討し、そういったことが市内で広まることが望ましい。

エンディングノートの
積極活用と60歳からの早期取り
組みを

問 福井県版エンディングノート「つくみ」の活用状況は。

答 市内65歳以上の高齢者人口2万5900人を対象とした場合、1%の活用状況となっている。

問 高齢者(65歳)になる前からの準備、サポート体制の充実、健康寿命を延ばすための積極的取り組みを今こそ行っていくべきと考えますが、市長の見解は。

答 若いうちから健康づくり、介護予防といった、健康づくりに関する意識づけを高めることは何よりも重要と考える。

問 40代、50代になって、企業に勤めるうちから、企業の人を巻き込んだ意識づけも必要である。

答 また、健康食育フェスタなど様々な形でPRを行っているので、そういった形で、令和6年に向けたさらなる充実も必要である。

問 フレイル予防については、60代の人に言っても、なかなかピンと



鍋嶋 邦広

こないもので、やはり70代が中心になってくると考えるが、60代の人には、やはり意識づけが何よりも必要かと思う。

令和6年に向けて、若い人の健康への意識の啓発といったことで何ができるか、先事例を参考に検討していく。



▲福井県版エンディングノート「つくみ」

時代に応じた交通施策の推進を

問 自転車のヘルメット着用が努力義務になったことや、基準を満たした電動キックボードは運転免許が不要となることなど、時代の変化に合わせた道路交通法の改正に伴い、本市として交通ルールの啓発をどのように図っていくのか。

答 県や警察などの関係機関と連携をしながら、市民対象の交通安全講習会などの機会を通して、また、市のホームページやSNSなどを活用して、周知啓発を行っていく。

問 ヘルメット購入の助成制度を検討していくべきではないか。

答 今後の国・県の支援策、あるいは近隣自治体の動向などを注視して考えていきたいが、まずは、市民にヘルメットは自分の命を守るために必要なものである、ということを十分理解してもらえよう。周知活動、意識の向上を図っていく。

学校開放に効率的な運用を

問 社会体育施設のように学校体育施設についても空き状況を把握



佐藤 岳之

し、予約できるシステムを導入できないか。

答 また、ICTを活用したスマートロックシステムの導入は。スポーツ推進、利用者の利便性の向上を図るために、スポーツ協会や学校関係者と現状や問題点を整理しながら、導入に向けて慎重に検討していく。



▲自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化に

水道事業の現状と対策は

問 AIやIoTの活用、水道のスマートメーターの導入は。

答 AIやIoT技術を使い業務効率化を図っている具体例はない。スマートメーターも併せて他自治体の導入状況を参考に検討する。

問 水道事業の自治体間広域連携は。

答 県は、経費削減、業務負担の軽減、水道システムの一元化などの業務効率化を図るため、「県水道広域化推進プラン」を策定した。将来に向けた地域別での経営の一体化についての協議にも参加する。

健康都市の健幸（健康）まちづくりを

問 健康スポットとして、*体組成計などを公共施設内に設置しては。

答 公共施設内への設置は精密機器の維持管理に課題がある。企業については、機器導入補助も含め、働く世代の健康づくりを検討する。



上坂 健司

問 DXを活用し、データに基づいた健康づくりの事業展開を。

答 健康に関連するデータの収集、主観的な健康観についての意識調査も含め内容を検討し、健康づくりへの意識向上と幸福実感の向上を目指していく。

問 希望に応じ農道やパイプライン上部を活用した「健康ロード」を。

答 健康ロードと称したコース設定について、関係部署と連携し、課題の整理を行いながら検討する。



▲水道料金改定の住民説明会の様子

*体組成計…体脂肪や筋肉量、骨量など人間の体の組成を計測するための機器のこと。

子どもの幸せのための教育を

問 市として、子どもたちをどのように育てていくのか伺う。

答 また、特徴的な教育があるのか伺う。

答 本市の教育方針は、「豊かな心と生きる力を育み、未来を拓く都市づくり」の心は、人を支え、人を育てる「人」である。

問 この人づくりというものを根幹に据え、変化の激しい時代を主体的に生き抜き、豊かな未来の創り手となるような子どもたちを育てていきたい。

答 特徴的な取り組みは、「魅力ある学校づくり」を進めており、「通うのが楽しい」学校を目指している。

問 子どもたちにとって最大の教育環境は教師である。

答 先生たちが成長できる取り組みを伺う。

答 先生たち子どもたちに対する熱い思いや頑張りがある。授業改善はもとより生徒指導、特別支援教育などの研修を充実させ、人間力・指導力の向上や様々な課題を解決するための資質向上に取り組む。



永井 純一

市民のよりどころの市役所支所へ

問 各支所に社会福祉協議会支部や地域包括支援センターを集結し、市と連携を強化した住民福祉の向上を図っては。

答 施設の管理面から課題があると考えるが、福祉向上につながっていくものと考え調査、検討する。



▲坂井市役所春江支所内の様子

(仮)「坂井市農業振興計画」策定と個人農家への支援を

問 本市の農業指針・計画は。

答 坂井地区農業振興協議会の「坂井地区農業振興ビジョン」を策定している。

問 個人が経営する小規模水稲農家に対する支援策について伺う。

答 国・県・市ともに、認定農業者や集落営農組織を対象にしたものが基本となっている。

問 小規模農業者については、中山間地域の集落単位で支援が行われている。

答 小規模水稲農家が農業を続けていくことの重要性について、どのように認識しているか伺う。

答 本市でも担い手だけでなく、その他の経営体が連携・協働のもと地域を支えていくことが重要と考えている。

問 令和6年度の予算編成にあたって、小規模水稲農家への支援策はあるのか。

答 平野部では、これまで同様、農地の集積を進め、効率化・省力化を推進していきたい。



▲出荷前の令和5年産福井米



伊藤 宏実

問 一方、中山間地域など集積が困難な地域は、中山間地域等直接支払制度の活用も促しながら支援していきたい。

答 「坂井地区農業振興ビジョン」に代わる(仮)「坂井市農業振興計画」を策定する考えはないか。

答 「坂井地区農業振興ビジョン」に基づき、より一層取り組みを加速し、機動性をもって農業施策を講じていきたい。

会計年度任用職員の抜本的な処遇改善を求める

問 本市の常勤職員の会計年度任用職員数は正職員の25%であり、業務内容は正職員と同様だが、賃金の低さが大きな問題である。

答 どういう役割を担っているか。社会情勢の変化により、質の高い行政サービスを提供し続けるために、重要な担い手である。

問 正職員と比較して、会計年度任用職員の給与水準の決定方法は。

答 常勤職員の属する職務給の初号級の給料月額を基礎としている。

問 会計年度任用職員の男女比は。

答 女性が9割、男性が1割である。

通学バスの保護者負担廃止を

問 通学バスの利用者は、小学生1032名、中学生534名であり、保護者負担は、年間小学生1万6千円、中学生2万4千円である。

問 国は通学支援に交付税措置を行っており、通学バスの需要額はバスの実動台数に基づいて算定され、バスの委託費と交付税算定額との差は3千万円で、市の財源で賄える。



▲市内を運行している通学バス



松本 朗

問 全国で、通学バスの保護者負担を課している自治体の割合は。

答 把握できていない。

問 保護者負担の自治体は、平成20年の文部科学省の調査では10.3%であるが、県内の状況は。

答 坂井市と小浜市である。

問 受益者負担の観点から、スクールバスの対象地区と対象外になる地区の不公平が生じるため、保護者負担は必要である。

誰もが応募できる国際交流事業に

問 令和6年度の国際交流事業は。また、令和6年度以降の事業の考えを伺う。

答 招聘事業では、英国から中高生25名と引率者6名を選定するなど、令和6年度の夏に向けて準備を進めている。

また、派遣事業に関しては、内容を検討した上で実施に臨みたい。

問 中止期間中に、英国に行けなかった生徒にチャンスを与えるという意味で、応募要件に高校生も含めてはどうか。

答 内容を検討する上で、高校生の参加も視野に入れて検討している。

問 この事業に誰でも応募するチャンスを与えるべきだと考えるが、何か方策は。

答 また、ふるさと納税を活用した奨学金制度などを設けてみては。招聘事業は、これまでは中学生がいる家庭を対象にホストファミリーを募集しており、今後この募集方法は続けていき、幅広く国際交流事業に参加できるようにしていく。



林 豊夏



▲ウェールズの学生とのリモート交流の様子

子育てに悩む父親への支援

問 父親専門の相談窓口は。

答 「子育て世代包括支援センター」にて父親に対しても相談に応じている。

本庁内に「こども家庭センター」の設置を検討しており、相談内容に応じて関係機関と連携した父親支援を推進していく。

問 父親の産後うつは表面化されにくい。

答 市での体制を問う。父親が産後うつに陥る要因は、育児と仕事の両立や育児休暇取得による社会との隔絶、経済的負担や育児を頑張ろうとする過度な意識などが挙げられる。

現在、母親の産後うつ病質問票の実施時に父親や家族の健康状態、育児への不安や悩みを確認するよう努めているが、今後は父親対象の質問票を用いるなどスクリーニングできる体制を整えていきたい。

問 企業への育児休暇推進啓発は、関係各課と情報共有しながら、機会を捉えて企業向けに周知を図っていききたい。

市民の健康と体力維持



山田 秀樹

問 雨、雪、炎天下でも体力維持のための運動を持続的に楽しめる方策は。

答 コミュニティセンターなどを活用した運動習慣の機会を創出し、市民がどのような天候においても、身近な場所ですみながら継続的に運動や身体活動ができるよう、健康づくりの推進に取り組んでいく。



▲厚生労働省発行のミニリーフレット

郷土料理・伝承料理を次世代へ継承する取り組みを

問 郷土料理や伝承料理の地域ごとの味を掘り起こすための取り組みはされているか。

答 令和4年、文化庁に認定された文化財保存活用地域計画の策定時に調査した。

各地区における歴史・文化にかかわる「ふるさと坂井のおたから」では、食に関する「おたから」として、24種類が挙げられた。

問 郷土料理サミットや郷土料理コンテストのような地元食文化を発信する機会を作ってはどうか。

答 住民主体で実施することが、地域に貢献するという住民意識の高まりにつながるため、まちづくり協議会連絡会などに働きかけた。

問 高校生や大学生とSNS用の動画制作で協力する機会を創出したリ、フォトコンテストなど若い世代が郷土料理や伝承料理に関心を持つ企画をしてはどうか。

答 動画制作や見映えする写真を集めたSNSへの投稿、フォトコン



廣瀬 陽子



▲SNSで発信された竹田コミュニティセンターの郷土料理講座

テストの開催は、若い世代が郷土料理・伝承料理を知るきっかけになり、あわせて本市の魅力を広く発信する有効な手段と捉えている。

料理教室などの講座と若い世代が情報発信で協力することで、郷土の食文化の継承と世代間交流につながるため、コミュニティセンターを中心に組みたい。

令和5年度 一般会計12月補正予算概要

補正額 **18億8,233万円** (補正後の額 458億9,289万円)

主な事業	
◆商工事務事業	1億5,225万円 キャッシュレスキャンペーン・カイモンキャンペーンを実施し、キャッシュレス決済の利用促進と事業者支援を行うとともに、物価高騰の影響を受けている市民生活を応援するための経費を計上。
◆社会福祉総務事業	4億3,696万円 物価高騰などによる負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯などを支援する経費を計上。
◆行政改革推進事業	5,600万円 燃料費および電気料の高騰の影響が大きい指定管理者に対する補助金の増額。
◆移住定住推進事業	800万円 若者および子育て世帯の移住定住を促進するため移住支援金を支給するもので、対象者の増加が見込まれるため経費を増額。
◆水産業経営支援事業	1,075万円 漁業経営の安定化を図るため、新規漁業就業者の育成や燃油価格高騰に対し支援するための経費を計上。
◆道路改良補助事業	7,250万円 市道の事業の効果早期発現のため、経費を増額。

賛否が分かれた議案と審議結果

○…賛成 ×…反対 □…棄権 △…欠席 ……原則採決に参加できない

議案番号	件名	議席 審議結果	議員氏名																						
			1 林豊夏	2 佐藤岳之	3 廣瀬陽子	4 鍋嶋邦広	5 伊藤宏実	6 岡部恭典	7 山田秀樹	8 三宅小百合	9 後藤寿和	10 前川徹	11 上坂健司	12 戸板進	13 古屋信二	14 田中哲治	15 佐藤寛治	16 松本聖一	17 伊藤人志	18 辻孝治	19 川畑嘉彦	20 前田純一	21 永井純一	22 畑野麻美子	23
認定第1号	令和4年度坂井市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	×	○	-	○	○	○	×	
認定第2号	令和4年度坂井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	×	○	-	○	○	○	○	×	
議案第48号	令和5年度坂井市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	×	○	-	○	○	○	○	×	
議案第58号	指定管理者の指定(坂井市ゆりの里公園農産物直売所)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	×	○	-	○	○	○	○	×	
議案第65号	坂井市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	×	○	-	○	○	○	○	×	
議案第66号	坂井市特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	×	○	-	○	○	○	○	×	
議案第67号	坂井市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	×	○	-	○	○	○	○	×	

全会一致となった議案と審議結果

議案番号	件名	審議結果
認定第3号	令和4年度坂井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第4号	令和4年度坂井市水道事業会計決算の認定について	//
認定第5号	令和4年度坂井市公共下水道事業会計決算の認定について	//
認定第6号	令和4年度坂井市農業集落排水事業会計決算の認定について	//
認定第7号	令和4年度坂井市病院事業会計決算の認定について	//
議案第49号	令和5年度坂井市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第50号	令和5年度坂井市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	//
議案第51号	令和5年度坂井市病院事業会計補正予算(第4号)	//
議案第52号	土地改良事業の計画の変更の概要について	//
議案第53号	字の一部区域の変更について	//
議案第54号	指定管理者の指定(坂井市三国希望園)について	//
議案第55号	指定管理者の指定(三国駅前駐車場ほか1施設)について	//
議案第56号	指定管理者の指定(坂井市丸岡総合福祉保健センター)について	//
議案第57号	指定管理者の指定(坂井市丸岡バスターミナル交流センター)について	//
議案第59号	指定管理者の指定(坂井市三国温泉ゆあほ〜と)について	//
議案第60号	指定管理者の指定(坂井市たけだの里施設)について	//
議案第61号	指定管理者の指定(坂井市文化施設)について	//
議案第62号	指定管理者の指定(坂井市丸岡城関連施設)について	//
議案第63号	指定管理者の指定(坂井市体育施設)について	//
議案第64号	指定管理者の指定(坂井市屋内温水プール・フィットネスセンター)について	//
議案第68号	坂井市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	//
議案第69号	坂井市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	//
議案第70号	坂井市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の一部を改正する条例について	//
議案第71号	坂井市空家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例について	//
議案第72号	令和5年度坂井市一般会計補正予算(第7号)	//
議案第73号	区分所有権確認請求事件に対する反訴の提起について	//

坂井市議会避難訓練報告



本会議中に震度6強の地震が発生し、庁舎内で火災が発生したと想定した避難訓練を、令和5年11月13日に実施しました。災害対策検討委員会の発案で、議場での身の守り方やその後の避難方法、また介助が必要な傍聴者への対応などを学びました。いざというときに備え、手順や役割分担などを確認できたことは大変意義がありました。



避難訓練終了後、嶺北消防署員の指導で消火器を使った消火訓練や屋内消火栓作動訓練、3階に設置されている垂直降下型の救助袋での避難、自動体外式除細動器(AED)を使った救命救急訓練を行いました。

有事の際に戸惑うことのないよう、今後も定期的に訓練を行っていきます。

本号の表紙

本号の表紙は「小野幸一」さんの撮影作品です。

●撮影場所
春江町針原

●コメント
寒風に晒される美味しい大根干しの季節になりました。
後方をえちてつの電車が通り過ぎます。



議会を傍聴してみませんか 事前予約は不要ですので、お気軽にお越しください。

★3月定例会会期日程(予定) ※日程は、変更になる場合がありますので、変更となった場合は、坂井市ホームページでお知らせします。

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26 10:00～ 本会議初日 (施政方針・議案説明など)	27 9:00～ 予算特別委員会	28 9:00～ 予算特別委員会	29 9:00～ 予算特別委員会	3/1	2
3	4	5	6	7	8 10:00～ 代表質問	9
10	11 10:00～ 一般質問	12	13 10:00～ 一般質問	14 10:00～ 産業建設常任委員会	15 10:00～ 教育民生常任委員会	16
17	18 10:00～ 総務常任委員会	19	20 春分の日	21 10:00～ 予算特別委員会	22	23
24	25 10:00～ 本会議最終日 (委員長報告・採決など)	26	27	28	29	30

編集後記

令和6年が始まった矢先に、思いもよらぬ能登半島地震が発生し、建物倒壊や火災そして道路陥没など、また多くの方々が犠牲となり1日も早い救助活動、インフラ整備などの復旧・復興を願うばかりであります。
いよいよ3月16日には、北陸新幹線敦賀延伸開業で、地域経済が活性化することはもとより、人流や物流、心象風景が大幅に変容することから、本市の経済・観光面などに大いに期待をするところであります。
さて、今年の干支は「甲辰」です。竜頭蛇尾に終わることなく、また画竜点睛を欠くことなく、持てる力を十分発揮して、飛躍する一年にしたいです。
今後も、議会をより身近に感じていただき、さらに議会への関心をお寄せいただきますようお願い申し上げます。
(田中 哲治)

教育民生常任委員会視察報告

11月7日～9日

山形県鶴岡市

ユネスコ食文化創造都市について

鶴岡市には、家庭でも行事食や伝統食、精進料理が数多く継承されており、在来作物は60種類以上が確認されている。

これらの歴史と食文化を背景に、平成26年に国内初「ユネスコ食文化創造都市」に認定された。

本市にも伝わる伝統食や在来種を大切に継承していきたい。

山形県鶴岡市

3つの日本遺産に認定された鶴岡市から学ぶ歴史文化の守り方

3つの日本遺産である「自然と信仰が息づく出羽三山」「サムライゆかりのシルク」「北前船寄港地・船主集落」を有する鶴岡市では、一体的かつ効果的に活用した情報発信などを行うことにより、歴史的魅力や特色の周知を行い歴史文化が守られている。

鶴岡市を参考にし、本市の歴史的風致維持向上計画案にある6つのストーリーを展開し、魅力向上するとともに歴史文化を守りたい。

新潟県三条市

子ども・若者総合サポートシステムについて

三条市では、平成20年4月から教育委員会に「子育て支援課」を設置し、ワンストップ窓口を実現している。

妊娠前から就労に至るまで、切れ目なく総合的な支援を行っており、若い世代が安心して子育てができる環境であった。

また早期に発達を確認することで、それぞれの個性を大切にしながら成長を見守る体制が整っており、三条市の子ども・若者を支援する理念と体制に感銘を受けた。



▲鶴岡市での視察の様子

産業建設常任委員会視察報告

11月6日～8日

福岡県宗像市

道の駅むなかたの取り組みについて

九州エリアにおいて、満足度・実績ともにトップクラスで、維持し続けるためのリピーターづくりに取り組んでいる。

年間100万人が訪れる仕組みとして、プロモーション担当者や品質管理の周知徹底などを行っている。

本市においても、直売所などへの事業戦略に大いに取り組む必要があると感じた。

佐賀県唐津市水産業活性化支援センター

水産業について

唐津市では、九州大学との共同研究で、マサバの完全養殖「唐津Qサバ」に成功した。

事業運営の施設管理費は唐津市が負担し、研究費は大学などの外部資金を活用している。

現在は、生産数が伸びていないため、養殖サバで生計を立てることが困難なことや、地球温暖化の影響などで多くの課題もあった。

福岡県宗像市鐘崎漁港TAKADAウニ畜養実証設備

宗像ウニプロジェクトについて

令和5年4月に、(株)高田工業所、九州大学、宗像漁協、宗像市がSDGs豊かな海づくりに関する連携協定を提携し、磯焼け対策として駆除ウニの陸上養殖を始めた。

また、廃棄した昆布・タケノコで、どのエサで美味しいウニが育つかの実証実験もしている。

本市でも、バフンウニの陸上養殖に取り組むが、「越前がに・甘えび」に次ぐ第3のブランドとなるよう仕掛けていくことが必要と感じた。



▲唐津市水産業活性化支援センターでの視察の様子

議会を開きます



坂井市議会 令和6年3月 第1回定例会 2/26(月)~3/25(月) 開催予定

会議日程

2月26日(月) 本会議(初日)	3月14日(木) 産業建設常任委員会
3月 8日(金) 代表質問	3月15日(金) 教育民生常任委員会
3月11日(月) 一般質問(1日目)	3月18日(月) 総務常任委員会
3月13日(水) 一般質問(2日目)	3月25日(月) 本会議(最終日)

・日程については市議会ホームページでもご覧いただけます
 ・代表質問、一般質問は後日YouTubeにて配信されます



▲議会ホームページ



▲YouTubeチャンネル

※ 日程は、変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください

問合せ先 坂井市議会事務局 TEL 0776-50-3001